



平成25年10月22日

各位

上場会社名 株式会社 カワタ
 代表者 代表取締役社長 白井 英徳
 (コード番号 6292)
 問合せ先責任者 取締役執行役員管理部門統括 白石 互
 (TEL 06-6531-8211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,250	240	200	205	28.93
今回修正予想(B)	7,216	229	214	178	25.12
増減額(B-A)	△34	△11	14	△27	
増減率(%)	△0.5	△4.6	7.0	△13.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	7,488	498	472	167	23.69

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,900	590	505	410	57.87
今回修正予想(B)	14,700	440	390	270	38.11
増減額(B-A)	△200	△150	△115	△140	
増減率(%)	△1.3	△25.4	△22.8	△34.1	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	15,058	707	682	192	27.23

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,650	△50	△45	50	7.06
今回修正予想(B)	3,228	△102	△60	34	4.80
増減額(B-A)	△422	△52	△15	△16	
増減率(%)	△11.6	—	—	△32.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	3,595	△17	8	65	9.20

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,800	50	60	140	19.76
今回修正予想(B)	7,100	△90	5	65	9.17
増減額(B-A)	△700	△140	△55	△75	
増減率(%)	△9.0	—	△91.7	△53.6	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	6,780	△148	47	148	20.96

修正の理由

【個別業績】

個別の第2四半期累計実績につきましては、前年度の景気の低迷から当年度は日本経済の景気回復に伴う需要の増加を見込んでおりましたが、国内設備投資および受注額の回復が当社の想定より遅れていること等により、売上高は前回予想を422百万円下回る3,228百万円となる見込みです。損益面では、原価低減や人件費や諸経費の圧縮等に努めましたが、営業損失は前回予想より52百万円悪化して102百万円の損失、経常損失は前回予想より15百万円悪化して60百万円の損失、四半期純利益は前回予想を16百万円下回る34百万円となる見込みです。

通期につきましても、総じて日本経済は回復基調ではありますが、国内の設備投資の回復のスピードが緩やかで受注額の急回復が期待出来ないことより、売上高は前回予想を700百万円下回る7,100百万円となる見込みです。損益面でも、引き続き原価低減や諸経費の圧縮に努めますが、第2四半期累計期間までのマイナスを挽回するまでには至らず、90百万円の営業損失(前回予想は50百万円の営業利益)となる見込みです。営業外収支では連結子会社からの受取配当金等による若干の改善がありますが、経常利益は前回予想を55百万円下回る5百万円、当期純利益は前回予想を75百万円下回る65百万円を見込んでおります。

【連結業績】

連結の第2四半期累計実績につきましては、タイの洪水被害の復興需要の反動が懸念されましたが、中国、台湾、東南アジアの需要は総じて堅調に推移し、前述の個別業績の減少分をほぼカバーすることが出来ました。売上高は前回予想を34百万円下回る7,216百万円、営業利益は前回予想を11百万円下回る229百万円、経常利益は前回予想を14百万円上回る214百万円、四半期純利益は前回予想を27百万円下回る178百万円となる見込みです。

通期につきましては、中国をはじめとする新興国において景気の減速の動きが広がっており、当社グループにおいても、中国、東南アジアにおいては、年度後半は前半より売上および売上総利益が減少することを予想しております。前述の個別業績のマイナス要因もあり、売上高は前回予想を200百万円下回る14,700百万円、営業利益は前回予想を150百万円下回る440百万円、経常利益は前回予想を115百万円下回る390百万円、当期純利益は前回予想を140百万円下回る270百万円を見込んでおります。

以上